



今年もすごい作品がいっぱい！

11月6、7日久玉町芸能文化祭(作品展示部門)がコミュニティセンターで開催された。

玄関を入ると、上品な花を付けた寒蘭がほのかな優しい香りで迎えてくれた。

広い講堂には牛深東小・中学校生徒の作品、地区住民の書・硬筆・絵・手芸・陶器・写真・バッグ等の素晴らしい作品が所狭しと展示されていた。

2日間の入場者約100名、他地区から来られたお客様からも、素晴らしいとお褒めの言葉があった。

ずらり並んだミニ振袖をみて「ワ～可愛いこんなの着てみたい」とか、絵画教室から出品された水イカの絵を見て「凄いまるで生きているみたい」とか、とてつもない大作のリサイクルキルトの前では「素晴らしいネこれを作るには相当な根気と時間がかかっただろうね」と、そしてプロが作ったのと遜色のないたくさんのバックの前では「素敵、ネ～私これがイイ、あなたどれが好き、これ下げて帰ったらダメかしら」等の会話が聞かれた。

会場は観覧者が終始とぎれることがなくて、今年の文化祭も盛会の内に終了した。

久振だより

人口2613人

1382世帯

第163号

発行

久玉地区振興会

発行日

令和3年12月1日



てまんご会(ミニ着物)



寒蘭



小・中学生(絵画)



アート教室(絵画)



バッグ



リサイクルキルト



陶器

地域を挙げて吉田天満宮例大祭



10月31日午前10時から吉田天満宮例大祭が開催された。

区民80名ほどが参加して、早朝からの草むしりで広場はすっかり綺麗になっていた吉田区の地区を挙げての協力体制が窺える。

神事開始前に、川邊区長の代理で高尾修さんが「2月に大鳥居づくりにかかり、区民の皆様のご協力で立派な鳥居が完成しました。また早朝からの清掃作業ありがとうございました」と御礼とねぎらいの挨拶があった。

神事は牛深八幡宮、田代宮司のもと厳かに執り行われ、玉串奉奠では区役員の後で子供を代表して牛深東中学校1年生、船辺昂也(こうや)君が玉串を奉納した。

♪♪通じゃんせ とおじゃんせ ここはどこ細道じゃ 天神様の細道じゃ ちょっと通してくだしゃんせ ごようのないものとおしゃせぬ この子の七つのお祝いにお札を納めに参ります 行きはよいよい帰りは怖い こわいながらも通じゃんせ とおじゃんせ♪♪

昔、何気なく歌っていたこの歌詞の最後の一節がどういふことか気になる。

可愛い子供の健康と成長を願う気持ち、子供のためには何事も恐れるなという教えを歌ったと勝手に解釈してみた。

神事のあとには大鳥居に負けない、立派な紅白餅が鳥居奉納記念として区民全世帯に配られた。



【うれしい！観客を入れてのステージ発表】



11月14日、観客80名が来場して芸能文化祭(ステージ部門)が開催された。

午前10時、第1部開演 オープニングは榎田さんの琴の調べとフルート演奏で始まり、唱歌、舞踊、詩吟、朗読と続き演目は多彩になっている。

印象に残ったのが、玉泉会の二人が華麗に踊る「華燭の宴」二人の息が合っていて優雅な気持ちにさせてくれる。

しろやま文庫の朗読「一秒の言葉」は手話を交えて、「ありがとう」「はじめまして」「がんばろう」と一秒の大切さを教えてくれた。

シャリンバイの「フラダンス」はしなやかな踊りで会場に癒しを与えてくれた。

また、今回は松島、有明の他はるばる遠方から人権擁護委員の方々がお越し下さり、人権に関する寸劇を披露して下さった。

第1部のフィナーレは「創作牛深ハイヤ踊り」総勢15名がステージいっぱいを使って踊りまくる様子は壮大で魚の入った網を引き上げるシーンは圧巻だった。

第2部は午後1時開演、久玉うたおう会のカラオケを中心に日頃の練習の成果を発表する。プログラムは27番まであり、久しぶりに観客を前にしての舞台だが緊張感も見せず堂々と歌っていた。

最後はお決まりのお楽しみ抽選会を楽しみながら終了した。





名明山から西海岸を望む！



11月21日、振興会主催で遠見山(217m)から名明山(229m)までの尾根を散策した。

参加者25名、遠見山山頂まではマイクロバスで登り、そこから名明山までの起伏の少ない道を歩く。山登り愛好者グループの方が定期的に整備をされているそうで歩きやすい、木漏れ日射し込む道を、落ち葉踏みながら時折涼しく優しい風を感じながら歩く。今回は女性の参加者が多かったせいか、おしゃべりが絶えることがない。

15分ほど進んだところで木々の間から久玉湾、その先に戸島が見えた。更に20分歩いたら目の前が急に開けて名明山に到着。そこからは魚貫崎、桑島、大島が綺麗だ。案内役を引き受けてくれた片白健次さんが魚貫崎の大蛇伝説、桑島・大島にまつわる話をユーモラスに説明すると、誰もが真剣に時折クスッと笑いながら聞いていた。

遠見山広場でシートを広げ、手作り弁当を食べながらのおしゃべりも楽しかった。



第14回照園杯GG大会

11月18日、70名が参加して明照園グラウンドゴルフ大会が開催された。

少し肌寒いがグラウンドゴルフにはちょうどいい。

開会式で、三宅理事長が「コロナ禍のため明照園も家族との面会を断っていましたが、透明のビニールで利用者さんを囲み、そこに空気清浄器を入れ面会ができるようにしました。今日は頑張ってください」と挨拶された。

コロナ禍も落ち着いてきたが、マスクはキチンとして、皆さん時折笑顔を見せながらも真剣にグラウンドゴルフを楽しんでいた。

尚、入賞された人は次のとおりです。



成績

1位	松下安代	31点
2位	野口清見	33点
3位	川上清美	34点
4位	戸村隆臣	34点
5位	金棒秀子	35点
(敬称略)		

